

めいとくやま



鳥取市立明徳小学校

E-mail meitoku-e@mailk.torikyo.ed.jp

TEL 23-5661 FAX 23-5662

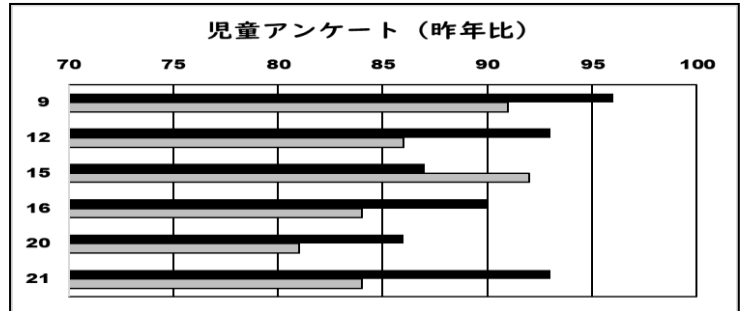
<https://www.torikyo.ed.jp/meitoku-e/>

令和3年度 7月学校評価アンケート 結果報告

ご多用の中、7月に実施した第1回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
今後の教育活動の改善にアンケートの結果を生かしていきたいと考えています。

(1) 児童アンケート

- 9 学校の先生はわたしのことをわかっている
- 12 チャレンジ班活動が楽しい
- 15 相手や場に応じた言葉づかいをしている
- 16 移動するときや集合するときなど、だまって行動している
- 20 一人一鉢や畑の水やり、畑の草取りに進んで取り組んでいる
- 21 時間を守って生活している



※棒グラフ…上：令和3年度 7月
下：令和2年度12月

【指導の成果】

学校教育に対して、肯定的な回答がすべて85%以上であり、昨年からの指導の成果が表れてきています。

- 「9学校の先生はわたしのことをわかっている」96% (昨年度比+5%)
⇒いじめ対応や個別の指導、学級集団作りなど、教職員の児童理解への取組の成果です。
- 「12チャレンジ班活動が楽しい」93% (昨年度比+7%)
⇒チャレンジ班遊びやあいさつ運動など、異学年の関わりが昨年より増えたことが改善の要因だと考えます。
- 「16移動するときや集合するときなど、だまって行動している」90% (昨年度比+6%)
⇒全校集会や見守り隊下校などでの継続的な指導の成果です。
- 「20一人一鉢や畑の水やり、畑の草取りに進んで取り組んでいる」86% (昨年度比+5%)
⇒校門でのあいさつ運動や朝の活動に参加する教職員による声かけなどの取組が児童の行動意欲を高めることにつながったものと考えます。
- 「21時間を守って生活している」93% (昨年度比+9%)
⇒代表委員会で時間を守る取組についての話し合いや見守り隊下校前の体育館集合の意識付け等の取組の成果と思われます。しかし、朝読書前8時12分着席や3校時や掃除活動の取り掛かりには、課題があると思われます。

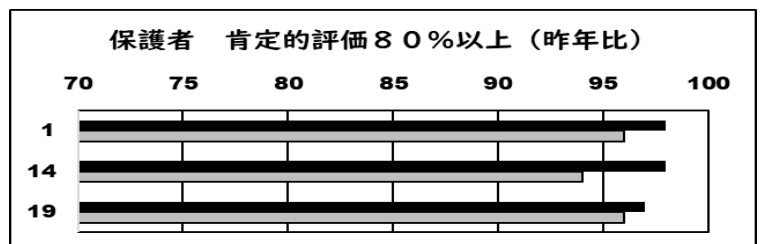
【対応策】

- 「15相手や場に応じた言葉づかいをしている」87% (昨年度比-5%)
⇒あいさつの仕方や発表の仕方、教職員や来校者、地域の方などへの話し方など、教職員が場に応じた話し方について具体的な言葉で伝えていく取組を今後、取り組んでいきます。

(2) 保護者アンケート

肯定的な回答80%を上回った項目は22項目中17項目でした。学校教育に対して、概ね肯定的にとらえておられることがわかりました。95%以上が10項目あり、中でも高かったのは次の3項目です。

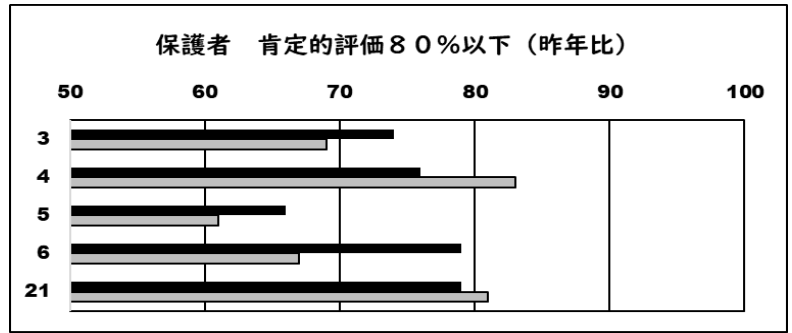
- 1 子どもは、学校に楽しく通っている。
- 14 教職員(学校)は、子どもたちの学力が向上するように取り組んでいる。
- 19 保護者は、交通ルールや社会生活を送るうえでの約束ごとや決まりごとを身につけさせるようにしている。



※棒グラフ…上：令和3年度 7月
下：令和2年度12月

肯定的な回答80%を下回った項目は22項目中5項目でした。

- 3 子どもは、自分から先に、はっきりと、笑顔であいさつをしている
- 4 子どもは、相手や場に応じた言葉づかいをしている
- 5 子どもは、履き物をきちんとそろえている
- 6 子どもは、困ったことやわからないことがあるときは、先生に相談している
- 21 保護者は、子どもの教育上困ったことがあれば、学校に連絡・相談するようにしている



※棒グラフ…上：令和3年度 7月
下：令和2年度12月

【対応策】

- 「3 子どもは、自分から先に、はっきりと、笑顔で挨拶をしている（74%）」
⇒昨年度より5ポイント上がったものの、まだ十分とはいえません。名前を呼んで挨拶をしたり、校内で先生と出会ったときにも挨拶をするようにしたりして、意識を高めるような取組を進めています。
- 「4 子どもは、相手や場に応じた言葉づかいをしている（76%）」
⇒昨年度より7ポイントも下がっています。学校では、人の名前を呼ぶときは、「さん」付けて呼ぶことや「です。ます。」と丁寧な言葉遣いをすることを指導しています。また、国語科の「話す」の学習で学んだことを、日常生活の中で生かし相手や場に応じた言葉遣いができるようにしていきたいと考えています。
- 「5 子どもは、履物をきちんとそろえている（66%）」
⇒この項目は昨年度より9ポイント上がったものの、まだ低いままです。靴箱の靴やトイレのスリッパの置き方の写真を掲示したり、きれいに揃っていたときには◎カードを置いたりして、誰もが気持ちよく使えるために履物をそろえることが習慣化するように取り組んでいます。
- 「6 子どもは、困ったことやわからないことがあるときは、先生に相談している（79%）」
⇒普段から何でも話せる信頼関係づくりや児童の話を傾聴することにさらに努めていきたいと考えます。児童の困っていることや人間関係等の等の実態を把握するために、学校全体で毎月「友達アンケート」を実施したり、面談週間を設けたりして、児童理解に活用しています。学習の中では「わからない」ということが言える、みんなで学び合いわかる授業づくりに取り組んでいきます。
- 「21 保護者は、子どもの教育上困ったことがあれば、学校に連絡・相談するようにしている（79%）」
⇒学年・学級懇談、個人懇談等の機会や連絡帳や電話連絡等を通じて、児童について保護者と学校とが共通理解し、同一歩調で児童を育てていきたいと考えています。また、連絡・相談いただいたことは、担任のみでなく、学校として対応してまいります。保護者の皆様との信頼関係づくりにさらに努めていきたいと考えます。

(3) ご意見・ご要望（記述内容）について

＜学校運営＞

- ホームページの更新（情報量の乏しさが目立つ）
⇒夏休み明け以降、日々ホームページの更新に努めています。学校生活の様子をお知らせするとともに、学校だよりや重要なおたよりを載せています。

＜学校生活＞

- 登下校の仕方（朝を集団登校にしてほしい）
⇒週1回の下校見守り隊（集団下校）を通して、登下校における指導を行っています。登校については、現在のやり方を現時点では変更する予定はありません。
- 体操服・水着の名札、水着の型
⇒名札の大きさやつけ方、水着の型についてご意見をいただきました。今後検討する際の参考にさせていただきます。
- 子どもの発達や悩みの相談
⇒担任だけでなく、管理職や養護担当、特別支援教育主任等、随時ご相談いただければと思います。また、月に一度スクールカウンセラーの教育相談日を設けています。

アンケート回収率は児童100%、保護者99%でした。ご協力ありがとうございました。「学力」「生活」「人間関係」等の観点からアンケート結果を考察し、学校教育がより充実するよう取り組んでまいります。